

2004年6月24日(木) 午前2時2分 第1子女児出産 2970g

予定日は6月7日でした。初産は遅れるとは聞いていましたが、1週間過ぎ、2週間過ぎても兆しがなく、「明日は産まれますように」と恐れていたはずの陣痛が来るのを祈るような気持ちで待っていました。私は里帰りをしてからの1ヶ月間、何の心配もなく過ごしていたのに、予定日超過という思わぬ壁にぶつかってしまった気がしました。

妊娠7ヶ月から9ヶ月まで逆子でしたが助産院での出産を諦めたくなかったので、必死で逆子体操をしていました。里帰り直前にやっと逆子が戻り、「これで中嶋助産院で産める!」と喜んでいたのに、まさかここまで来てこんなことになるなんて、とてもショックでした。でも焦りや不安は赤ちゃんに良くないと思い、「この子はのんびりしてるんだ」「居心地が良くて出てきたくないんだ」と自分に言い聞かせました。

強い陣痛が続けて来るようになったのは予定日から16日過ぎた6月23日のお昼過ぎで、康乃先生に電話していいものか迷っていると不思議なことに、丁度康乃先生がお電話をくださいました。きっちり5分おきに痛みが来る前に3分おきに波が来るようになって、夜8時入院、午前0時近くに分娩室に入り2時間後に女の子が誕生しました。陣痛で意識が朦朧とする中、康乃先生、チヨさん、そして母の励ましの声が聞こえ、とても勇気づけられました。

何度も自然分娩を諦めるべきか悩みましたが、康乃先生と赤ちゃんの産まれてくる力を信じて待つて本当に良かったです。病院で無理に産んでいたら、薬や吸引で赤ちゃんに辛い思いをさせてしまったかもしれません。今、隣で安心してすやすやと眠る赤ちゃんを見ていると、初めて抱いた時の感動と、汗びっしょりになって6時間以上腰をさすり続けてくれた母の姿を思い出し、感謝の気持ちで胸がいっぱいになります。

結局、2週間以上遅れてしまって、康乃先生に随分ご心配をかけることになってしまい申し訳ありませんでした。そして、病院に転送せずに赤ちゃんを取り上げてくださってありがとうございました。

思いがけず長期入院となりましたが、おいしい食事とチヨさんの沐浴指導が楽しみで、充実した日々を送ることが出来ました。また、結婚記念日にこちらで主人と過ごせたこと、康乃先生がお祝いして下さったお心遣いがうれしかったです。



こちらの助産院でお世話になってたくさんのお話を学ぶことが出来ました。  
やっと産まれてきてくれた赤ちゃんがかわいくてたまりません。康乃先生と千ヨさん  
に出会えたことに感謝して、これからもこの子を守り、育てていこうと思います。

康乃先生、千ヨさん、どうかお体に気を付けて尊いお仕事が続けて  
いって下さい。お産の恐怖で2人目は無理かと思いましたがここでなら  
甘ったれの私も頑張れるような気がしてきました。次はもう少し大人  
しく出来る(?)と思いますのでよろしくお願いします。本当にお世話になり  
ました。ありがとうございました。

P.S. 千ヨさん、毎回沐浴の時、ウンチやおしっこをしてお手間をとらせて  
しまい申し訳ありませんでした。でも私はそれが面白くてとても楽しか  
たです。笑ってばかりでしたね、失礼しました。

2004年 7月3日(土) 原田